

天
氣
昭
和
三
十
九
年
十
二
月
二
十
五
日
發
行
刷
每
月
十
一
回
第
十
二
卷
第
十
二
號
發
行
者
大
田
正
次
發
行
所
一
ツ
ノ
七
七
氣
象
学
會
日
本
氣
象
学
會
日
本
三
報
社
印
刷
株
式
會
社
井
上
栄
一
大
田

月例会のお知らせ

シンポジウム「大気と海洋の相互作用」

会期 1月26日(火) 13時~17時 会場 気象庁第1会議室

司会 岸保勘三郎

話題提供者

1. 片山昭(気象研): 大規模気象現象に及ぼす海洋の効果
2. 高野健(東大): 海水の循環に関する諸問題
3. 竹田厚(東大): air-sea boundary problem—風の分布を中心にして—
4. 大河内芳雄(気象庁): 海面からの顕熱の補給について
5. 尾形哲(気象庁): 海上面付近の気象について
6. 菱田耕造(気象研): 伊東海洋気象観測塔について

本シンポジウムは大気と海洋との運動を相互関係の立場から理解しようとするための試みであります。未知の点もあることと思いますが、参加者の協力によって興味深いシンポジウムにしたいと思ひます。

なお、数グループ合同のシンポジウムとして、引き続き「乱流輸送」を2月11日(木)に会場気象庁内において井上栄一氏の司会で開催する予定です。

講演企画委員会

主題: 気象電気シンポジウム 会場: 気象庁第1会議室

会期: 1月26日(火) 10時~17時

午前(研究発表)

1. 竹内利雄(空電研): 1963年64年の雷雲観測(30分)
2. 田村雄一(京大): 雷電気発生についての考察(20分)
3. 石川晴治(空電研): 空電源 VHF スペクトル(20分)
4. 小川俊雄(京大): ELF帯電場変化の予備観測(20分)

午後(研究発表)

5. 川野実(名大): 大気中の放射性物質とエアロゾルとの関係 (20分)
6. 三崎方郎・金沢五寿雄(気象研): 第4領域の移動度イオンスペクトラム (20分)
7. 内川規一(気象庁): 空地電流用ラジオゾンデとその測定結果 (20分)
(総合報告)

1. 川野実(名大): 大気中の放射性物質と気象電気現象 (45分)
2. 内川規一(気象庁): 自由大気中の気象電気研究の近況 (30分)

主題: 太陽活動と放射 会場: 気象庁内

会期: 1月29日(金) 13時30分より

一般研究発表

1. 荒井康(気象研): 500mb天気図型と太陽活動(15分)
2. 加納宗靖(気象研): 短波長放射(強度および偏向)におよぼす混濁層の影響 (40分)

特別講演

1. 関原 彊(気象研): レニングラード放射会議に出席して (40分)
2. 渡辺和夫(気象示): 気象衛星による気象学の進歩 (40分)

3月 月例会の講演募集

春季講演会

会期: 3月26日(金) 会場: 気象庁内

申込先: 東京都千代田区大手町1-7 東京管区気象台調査課 河村 武

申込締切期日: 2月6日(土)(必着)

かねて予告したとおり、「台風」「豪雨」「豪雪」「気候」「水気象(降雨と流出)」「観測と測器」の各グループの合同による一般講演会を行ないます。研究発表のほか特定の主題でシンポジウムあるいは総合報告を計画しているグループがあれば、当日のプログラムに組み込みますから、主題・所要時間・内容(話題提供者とその話題)をお知らせ下さい。また、上記グループの研究発表とともに、従来月例会第1部で行なってきた、それ以外の一般研究発表も併せて行ないますから、希望者は氏名・講演題目・所要時間を明記し、大会に準じて250字以内の抽象トクトを付けて申込んで下さい。なお発表、討論には十分な時間をとりたいと考えますので、申込多数の場合は会期を2日間に延長することもありますからお含みおき下さい。なお春季講演会は、春季および科季大会を補足するものですから、盛大に行ないたいと思ひます。

講演企画委員会

主題: 航空気象 会場: 東京航空地方気象台会議室

会期: 3月10日(水) 申込先: 東京都大田区羽田 東京国際空港内 東京航空地方気象台 杉本 豊

申込締切期限 1月31日(日)